

学生と教員の見方

【学生の見方&考え方】

(3年 高岡洋介)

東京ドームと都市開発の

関係を考察すると、そこには

現代都市が直面する空間

利用の課題と、集客を通じ

た経済活性化の戦略が色濃

く反映されている。東京ド

ームは1988年、旧後楽

園球場の隣地に建設された

が、単なる野球場ではなく、

コンサートや展示会など多

様なイベントに対応可能な

多目的ドームとして設計さ

れた。その背景には、後楽

園周辺の再開発という都市

計画があり、スポーツ施設

を中心に据えながらも、娯

楽・観光・商業機能を融合

させた複合的な都市拠点の

地域の再生と多様性の共存③

形成が意図されていた。

開業後、東京ドームはプ

ロ野球の試合や音楽ライ

ブ、格闘技イベントなどを

し、昼夜を問わず経済活動

を開催する場として機能する

一方で、周辺には遊園地

「東京ドームシティ

アトラクションズ」、

ショッピングモール

「ラクーア」、ホテ

ル、スパ施設などが

整備され、東京ド

ームシティとして一体的に発

展していった。これにより、

イベント開催時のみならず、

平日やオフシーズンでも人々

が訪れる都市型レジ

ヤーク空間が形成され、都心

での継続的な集客と消費の

都市開発の観点から見ると、

東京ドームは限られた

都心の土地を最大限に活用

し、昼夜を問わず経済活動

を開催する場として機能する

一方で、周辺には遊園地

「東京ドームシティ

アトラクションズ」、

ショッピングモール

「ラクーア」、ホテ

ル、スパ施設などが

整備され、東京ド

ームシティとして一体的に発

展していった。これにより、

イベント開催時のみならず、

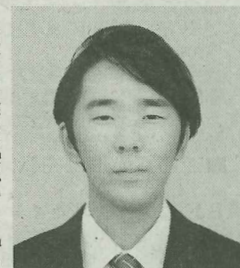
平日やオフシーズンでも人々

が訪れる都市型レジ

ヤーク空間が形成され、都心

での継続的な集客と消費の

循環が実現された。



【アピールポイント】
小学一年生から高校三年生まで野球を続けていました。今でも野球にかかわるアルバイトをしています。

やホテルを併設すること

で、東京ドームの成功モデ

ルを踏襲している。

さらに、東京ドームは都

市のシンボルとしてのブラ

ンド力を持ち、国内外の観

客の来場を促している。

これは、従来の単

一の機能型施設ではなく、複

数の機能を持つ複合型都市

的地となっている。海外ア

ーティストの公演や国際的

観点からその多機能性を的

確に描写している点が興味

深いものになっている。特

に、後楽園周辺の再開発と

連動した複合型都市拠点の

形成、そして日常的な経済

の展開に期待したい。

ムは単なるスポーツ施設を

超えた多機能都市空間として、東京という大都市の持続的な魅力と経済力を支える重要な拠点となっている。その存在は、都市開発の未来像を示す象徴的な事例といえるだろう。

【教員による展開】

(山本卓教授)

学生の記事は、東京ド

ームのような施設が都市の

ブランド力や国際的発信力

を担う一方で、周辺地域の

生活環境や土地利用にどの

ような影響を与えているか

という点も、今後の検討課

題となる。都市開発の成功

事例として評価するだけで

なく、その持続可能性や包

摂性についても視野に入れ

ることで、より多層的な分

析が可能となるだろう。全

体として、都市空間の構造

と機能を読み解く努力がな

されており、今後のさらな

る展開に期待したい。

ムは単なるスポーツ施設を

現代都市の施設の役割を考えるうえで重要な示唆を含んでいる。若干の補足をするならば、こうした都市型レジャーク空間の成立には、行政・民間・地域住民の関係性や都市政策の方向性が深く関わっている。また、東京ドームのような施設が都市のブランド力や国際的発信力を担う一方で、周辺地域の生活環境や土地利用にどのような影響を与えているかという点も、今後の検討課題となる。都市開発の成功事例として評価するだけでなく、その持続可能性や包摂性についても視野に入れることで、より多層的な分析が可能となるだろう。全体として、都市空間の構造と機能を読み解く努力がなされており、今後のさらなる展開に期待したい。

東京ドームの都市開発モデルが示す 未来の都市像